

航空連合NEWS

発行：航空連合／発行人：坂元 慎平 〒144-0041 東京都大田区羽田空港3-5-10 ユーティリティセンタービル6階 TEL.03-5756-9020 FAX.03-5756-9025

航空連合 第27-28期 運動方針

ローリング(案)

- 航空連合は昨年の第27回定期大会において、第27期―第28期の2カ年運動方針を機関決定し、この1年間はその実行に精力的に取り組んできました。
- 今般、この1年の成果と今後の課題について検討し、航空関連産業のさらなる成長・発展に向けて、**航空連合ビジョン「いつの時代も社会から必要とされ、働く人がやりがいを感じ、誇りをもって働ける産業」**の実現をめざし、3点で構成される取り組みの柱は堅持しつつ、向こう1年にて取り組むことをまとめた運動方針ローリング(案)を策定しました。

方針ローリングサマリー

1. 産業の基盤である安全の堅持と人材の確保

- ▶ 昨今の航空安全に関わる状況を踏まえ、意識向上と行動化の両面で具体的に取り組みます。
- ▶ 航空関連産業で働く魅力を直接伝える機会について、対象年代や地域の拡大を検討します。

2. 「圧倒的な生産性向上」と「継続的な人への投資」による好循環の実現

- ▶ 財源充実が図られた国際観光旅客税の活用や生産性向上に資する政策の実現に取り組みます。
- ▶ 新たな目標賃金水準の中期的な達成に向けて、2027春闘における賃金要求水準を議論します。

3. 仲間の輪の拡大と運動の変革への挑戦

- ▶ 「組織化方針」の補強を踏まえ、さらなる組織拡大と加盟組合のサポートに取り組みます。
- ▶ 地方組織における活動の充実と規約等の整合化を図るための運営見直しに取り組みます。

- 第28回定期大会は10月1日に開催し、代議員全体での承認をめざします。

第27期の活動ハイライト

第27回定期大会で小林会長を選出
(2025.10.2)第1回地方組織会長・事務局長会議(愛知)
(2025.10.22)(一社)空港グランドハンドリング協会との産業労使懇談会
(2026.1.23)「学びのフェス2026春」
(2026.3.26)連合 芳野会長との出前対話
(2026.4.14)第27期第2回航空連合政策議員フォーラム
(2026.5.26)「航空連合の森」環境ボランティア
(2026.5.30)第3回WINC
(2026.7.22)

I 第27期の主な成果と課題

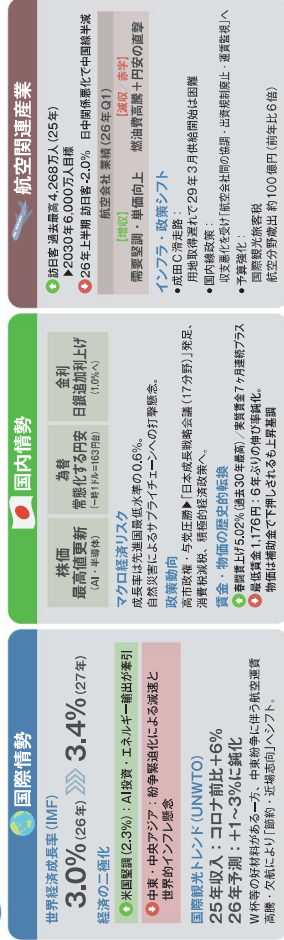
産業の基盤である安全の堅持と人材の確保

- 飲酒業者の根拠に向け、職場状況の共有や、LINE公式アカウント運用開始により相談体制の整備、法施行を望むための取り組みを進めました。
- 国の宮内省・東務省の労務管理等に関する検討会より航空整備士の人材確保等、関わる「東海国連」の関係者全団体代表者同交歓会に出席して意見交換をすることができ、航空安全シンポジウムの開催を通じて知見反映をすることができ、航空意識の醸成を図りました。
- 航空関連産業で働く能力の向上に資する新横浜インタビュー・公開に引き続き取り組む見込み、TikTok運用開始、航空教室（小川市の開催）などにより、航空産業で働く能力を広く広告宣伝へ発信しました。
- 小川市長による「出前対話」を通じて加盟組合との相互理解を深めました。

2 「圧倒的な生産性向上」と「継続的な人への投資」による好循環の実現

- 産業政策では、産業レベルでの「圧倒的な生産性向上」の具現化に向けて、国の「国内産業のあり方」に関する有識者会議への参画、航空機技術の高品質への緊急要請、政府予算・税制改正への政策要望などを通じ、働く者の現場から政策実現に取り組む。
- 増税された国際観光旅客税の活用を念頭に、地方組織の要望を上頭団体の政策・制度要求や空空港管理者などへの要請につなげるなど、地方の政策実現に空空港組みました。
- 定期航空協会や空空港ブランドハンドリング協会との連携も進展し、政策シンポジウムやNEWS EXPRESS、SNS等を通じた情報発信も強化しました。
- 生AIを活用しては産業政策提言の動画資料を初めて作成し、加盟組合への理解促進を図りました。
- 政治の取り組みでは、衆議院総選挙の結果を踏まえて航空連合政策議員フォーラムを再構築し、政治塾や政策懇談会等を通して政策と議員の関わりへの理解を深めました。
- 労働政策では、「中期労働政策方針(2026-2029)」を策定し、2026春闘ではベースアップ7%または12,000円を目安に取り組みました。
- 高齢化資金要求をおこない、47組合の平均回答は11,762円と過50歳以上者の賃上げを実現しました。

Ⅱ 第28期を取り巻く環境



産業基盤の構築：人材・DX・安全文化

- 外国人材確保・定着

- ギア [DX・自動化推進]**
空港側限エリアのレベル4自動運転開始（羽田・成田）。
貨物・手荷物・機空港への雇用の課題。

第28期運動方針ローリング(案)

産業の基盤である安全の堅持と人材の確保

- 安全運航の堅持、安全・安心なサービスの提供は、産業存続と発展の基盤であり、不断の努力による安全意識の醸成と、職場における作業安全や空港保安の主体的なチェックを起点とする航空安全政策の実現および実効性の向上を図ります。
- 安全堅持と産業の発展の前提となる人材の持続的な確保に向けて、産業で働く魅力を働く仲間自身が再認識する取り組みを継続するとともに、将来の産業を支える未来の仲間に対して関心を広げる取り組みを図ります。
- 航空事業の発展に向け相互協働を促進し、実体強化を推進すること
- 昨今の航空安全に関する状況や課題、意識向上と行動化の取り組みの取組を進めます。
- 航空産業の魅力を発信する新たなコンテンツや媒体を活用し、り広く若年層への訴求を強化するとともに、航空連合2030内外に広く発信します。
- 出前対応を継続・展開し、加盟組合との相互理解を深め、空着合の諸活動への参画促進につなめます。

2 産業政策と労働政策の好循環を通じた「圧倒的な生産性向上」の実現

- 職場における不断の生産性向上の取り組みを基盤に、個社やグループの垣根を超えた産業、および空港全体での「圧倒的な生産性向上」をめざし、本部、地方組織が一丸となって産業政策提言の具現化に取り組んでいます。
- 国内線の事業環境が急速に悪化していることを踏まえ、産業全体の雇用確保・維持に積極的に取り組んでいます。
- 上乗率の政策実現を通じた事業性の維持と働くものの安心の確保に重点を置き、誰もが安心して長く働くことができる産業づくりを、生産性向上の実現に必要な不可欠な「人への投資」を強化するとともに、誰もが安心して長く働くことができる産業づくりをめざし、本部・加盟組合が一丸となって、中期労働政策方針の具現化に取り組んでいます。
- 労組の有無や本会関係にかかわらず、産業全体に「人への投資」を波及させ、労働条件の着実な向上を図るべく、「航空連合 適正取引ガイドライン」を最大限に活用し、友好組織とも連携しながら、適正取引の推進に取り組んでいます。
- 意欲と参画意識の向上に継続的に取り組み、航空連合政策議員フォーラムとの連携維持・強化を図るとともに、組合員の政治的

- 産業レベルでの「経済的・生産性・向上」の実現に向けて、そのノウハウを国際社会へ提供させ、政策のアップデートや具体的な取組につなげる。
- 国内航空のあり方に関する有識者会議の取りまとめを踏まえ、税制改正予算へ必要とされる取組とともに、航空機燃料税の廃止に向けて働きかけを強化します。
- 国際線搭乗旅客税の活用や規制の見直し、空港施設の改善、自動化・省力化などDXを推進するとともに、空路がクルマやモノ・ローンなど新たなモビリティとDXを結ぶ意思を広げます。
- 業界団体との協議を継続するとともに、航空産業政策委員会と空路財団の連携を促進させます。
- 政策推進「フォーラム」との連携強化に取り組みとともに、政治方針を改定して組合員の政策参加を促進します。
- 中期防衛政策方針(2026-2029)の實現化に向け、産業全体での防衛政策改定を進めます。

3 仲間の輪のさらなる拡大と運動の変革への挑戦

- 産業全体における労使関係の健全化を推進すべく、仲間の輪の拡大と組織化を通じた「航空連合 組織化方針」の具現化とその強化に取り組み、2028年10月(第30期期初)までの早期に「5万人組織」を達成します。
- 産業で働く仲間が増大・多様化している中、誰もが安心して働き、生活でさえるための窓口となり、多様性のあるべく、労働相談機能、および情報発信機能の強化を図ります。会社組織と組合組織の双方において、多様性の尊重とジェンダー平等をさらに推進すべく、ジェンダー平等・多様性推進計画の真摯化に取り組みます。

- 世界情勢の変化に能動的に対応すべく、日本の航空関連産業を代表する産別組織として、ITF（国際運輸労連）の諸活動をはじめとする国際労働運動に積極的に参画するとともに、すべての働く人の人権が守られるよう、「人権デューデリジェンス」の考え方に基づく運動を推進します。
- 脱炭素社会の実現に貢献すべく、「航空連合の森」におけるボランティア活動を継続するとともに、産業別組合としての社会的課題にも積極的に取り組み、連合の平和行動やさまざまな社会運動への参画を継続していきます。

- 目標としてきた5万人組織を達成したことを踏まえ、健全な労使関係の構築と「人への投資」の波及をさらに推し進めるため、未組織職場・未加盟組合への接点を広げ、ユニオンショップ協定を軸に有期雇用・パート・外国人材の組合加入を支援します。
- 組織化方針の補強を踏まえ、「組織強化ハンドブック」等も活用し、合併・分割・買収・人員削減などに伴う雇用・労働条件問題にも対応します。
- 新たにGLTD（団体長期障害所得補償保険）制度を開始し、既存の共済サービスと合わせて組合員の生活の安心につなげます。
- ジェンダー平等・多様性推進計画に基づき、すべての機関会議における女性参画比率40%の達成に向け、選出基準の見直しや加盟組合のサポートを継続します。
- 男性育休や家事・育児への参画、フェムテック等の好事例を共有し、誰もが活躍できる職場風土を醸成するとともに、LGBTQや外国人労働者への理解促進、SOGIハラスメント対策にも取り組みます。
- 地方組織・本部運営では、オンライン・実出席・ハイブリッドそれぞれの特性を生かした会議運営と、Google Workspaceを活用した資料の電子化・データベース化、動画配信等をさらに推進します。
- 地方組織の政策実現力を高め、代表者の機関会議への参画を通じて本部との連携を強化します。
- 本部事務所の移転を契機に、事務局の働き方や運営面、および財政面の持続的改善を図ります。
- 人材育成では、航空連合独自のリソースや外部研修を活用し、トップリーダーから新任役員まで学びの機会を拡充します。
- オンラインも活用し、地方組織・加盟組合のニーズに応じた勉強会を支援するとともに、集合形式の会議では施設見学等を組み合わせ、交流と実出席の価値を高めます。
- 社会課題への対応では、連合の環境・社会貢献活動や署名運動、平和・災害支援に参画するとともに、「空をつなぐ。笑顔をつなぐ。プロジェクト」の継続、またSAFの普及啓発に取り組みます。
- 国際面ではITFの活動への参加、情報収集・発信、関係団体との連帯を強化し、人権デューデリジェンスの考え方を活動の基底に置き、持続可能で多様な仲間が安心して働ける産業と組織づくりを進めます。

第28回

定期大会を開催!

- 第27-28期運動方針ローリング(案)や規約の改定、外部団体への加盟、産業政策などに関する提案をおこないます。
- 旺盛な議論を通じて、一丸となって第28期をスタートできるように取り組みます。

大会
概要

2026年10月1日(木) 10:30~

於：大田区産業プラザPio

議事
(予定)

- ① (報告) 中期労働政策方針(2026-2029)進捗報告
- ② 第27期活動報告及び第27期-第28期運動方針ローリング(案)
- ③ 規約及び規定の改定(案)
- ④ 外部団体への加盟(案)
- ⑤ 2026-2027 産業政策提言(案)
- ⑥ 組織化方針(2026-2029)(案)
- ⑦ 第27期決算報告・剰余金処分(案)、第28期予算(案)
- ⑧ 第28期役員の補充

航空連合

は、航空関連産業で働く仲間・労働組合が大同団結し、産業の魅力の向上や基盤の強化に向けて1999年10月に結成された、航空労働界を代表する最大の産業別労働組合です。59の企業別組合の48,350人(うち客室乗務員約15,000人)で構成され、ナショナルセンター「連合」に加盟しています。



フォローを
お願いします!
Facebook



Follow me!
Instagram



公式アカウント
を作りました!
LINE



ニュース・航空連合へのご意見はE-mail、またはLINE公式アカウントでお受けしています。

アドレス avinet00@jfaiu.gr.jp

ホームページ <https://www.jfaiu.gr.jp>